

鹿児島知事

川内原発停止を再要請

九電拒否方針、近く回答

鹿児島県の三反園訓知事は7日、九州電力の本店がある福岡市を訪れ、瓜生道明社長に川内原発（薩摩川内市）の即時一時停止と安全対策を再要請した。九電は安全対策では協力を強化する一方、即時停止には応じない方針。瓜生社長は記者団に「しっかりと特別点検する」とし、理解を求めた。近く県に回答する。

三反園知事は瓜生社長との面会で「できるだけ早く停止して検証してもらいたい。英断をお願いしたい」と強調。避難道路の整備支援や避難車両の充実など安全対策の強化も求めた。瓜生社長は「県民の不安のさらなる軽減に向けて真摯に取り組む」と応じた。

三反園知事は面会后、即時停止が実現するまで要請を続けるかについて記者団に「回答の中身を見て判断していきたい」と述べるにとどめた。

九電は、県が指摘した避難車両の充実や避難道路の整備支援など安全対策については

前向きに対応する方針だ。稼働中でも確認ができる一部の装置の点検を、時期を前倒しして今月中に始めることも検討している。

伊方3号営業運転

四国電、新基準全国4基目

再稼働した四国電力伊方原発3号機（愛媛県伊方町、出力89万kw）は7日、原子力規制委員会の最終検査を終え、試験的な調整運転から営業運転に入った。東京電力福島第1原発事故を踏まえた新規制基準下では九州電力川内1、2号機（鹿児島県）、関西電力高浜3号機（福井県、司法判断で運転差し止め中）に次

ぎ4基目。プルトリウム・ウラン混合酸化物（MOX）燃料によるプルサーマル発電を行う国内唯一の原発となっている。